

平成 **21** 年度

株主通信

平成21年1月1日～平成21年12月31日

中外製薬株式会社

証券コード ● 4519



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成21年度(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)の
事業の概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

代表取締役社長

永山 裕

●目次

株主のみなさまへ……………	1	主な臨床開発の状況……………	7
連結財務ハイライト……………	2	主要製品……………	10
事業の概況【連結】……………	3	株式の概況……………	11
財務諸表【連結】……………	5	会社の概況……………	13

連結財務ハイライト

		2005/12	2006/12	2007/12	2008/12	2009/12
売上高	(億円)	3,272	3,261	3,448	3,269	4,289
営業利益	(億円)	792	583	667	516	826
経常利益	(億円)	821	609	677	573	904
当期純利益	(億円)	536	384	401	393	566
総資産	(億円)	4,564	4,621	4,589	4,785	5,405
純資産	(億円)	3,683	3,916	3,858	3,971	4,347
1株当たり当期純利益	(円)	97.00	69.35	73.23	72.07	104.00
1株当たり純資産額	(円)	665.29	703.08	703.80	725.18	794.51

売上高



経常利益



当期純利益



1株当たり配当金



販売の状況

- 売上高 ▶ **4,289**億円(前年同期比31.2%増)
- 海外売上高 ▶ **364**億円(前年同期比7.7%増)

当連結会計年度の売上高は、4,289億円(前年同期比31.2%増)となりました。

年度間で変動の大きい抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」の売上高762億円(同807.1%増)及びその他の営業収入98億円(同92.2%増)を除いた製商品売上高は、3,429億円(同9.4%増)となりました。

[国内製商品売上高(タミフルを除く)]

がん領域は、多数の後発品の影響により5-HT3受容体拮抗製吐剤「カイトリル」の売上が減少したものの、1次治療・2次治療での浸透が順調な抗悪性腫瘍剤／抗VEGFヒト化モノクローナル抗体「アバスタチン」と平成20年2月に乳がん術後補助化学療法の追加承認を取得した抗HER2ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤「ハーセプチン」をはじめとする新製品及び適応拡大品が順調に市場へ浸透した結果、1,237億円(同20.9%増)となりました。

骨・関節領域は、平成20年4月に関節リウマチ等の追加承認を取得後、シェアを伸ばしているヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体「アクテムラ」と変形性膝関節症の認知向上により市場への浸透が進んだ関節機能改善剤「スベニール」等の売上増加により、576億円(同15.2%増)となりました。

腎領域は、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」について、透析市場では売上が減少しているものの透析前の市場では順調にシェアを伸ばした結果、同製品の下半期(7～12月)の売上が前年同期比でプラスに転じたこと等により、当連結会計年度では610億円

(同0.5%減)となりました。

移植・免疫・感染症領域(タミフルを除く)は、平成20年4月より開始された政府のインターフェロン治療医療費助成制度の浸透とC型慢性肝炎の併用療法浸透によりペグインターフェロン- α -2a製剤「ペガシス」、抗ウイルス剤「コペガス」が伸長し、262億円(同9.2%増)となりました。

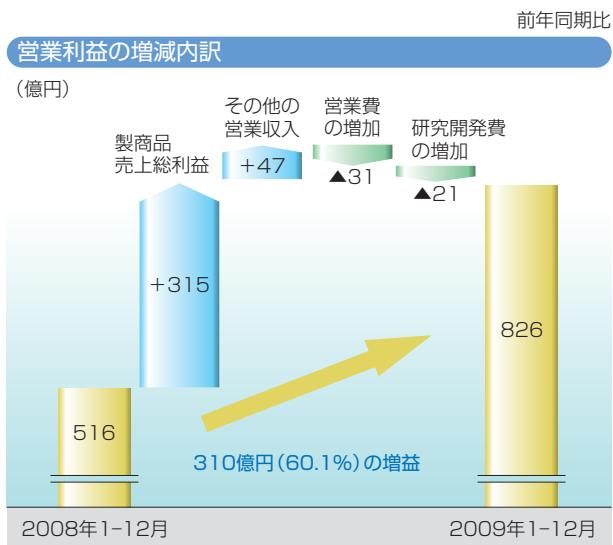
[抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」について]

通常シーズン向けの売上は、新型インフルエンザの流行により、第4四半期(10～12月)に177億円を計上し、当連結会計年度では362億円となりました。

行政備蓄向けの売上は、第4四半期(10～12月)に27億円を計上し、当連結会計年度では400億円となりました。

[海外製商品売上高]

海外製商品は、為替の影響等により遺伝子組換えヒト



G-CSF製剤「ノイトロジン」の売上が減少したものの、平成21年1月に欧州医薬品審査庁(EMA: European Medicines Evaluation Agency)から承認を取得した「アクテムラ」のエフ・ホフマン・ラ・ロシュ・リミテッド[本社:スイス](以下、ロシュ)への輸出売上が順調に増加し、336億円(同0.3%増)となりました。

[その他の営業収入]

平成21年1月の「アクテムラ」欧州承認による一時金収入等により98億円(同92.2%増)となりました。

損益の状況

- 営業利益 ▶ **826**億円(前年同期比60.1%増)
- 経常利益 ▶ **904**億円(前年同期比57.8%増)

比較的原価率の高い「タミフル」を含むロシュ製品の売上が大幅に増加したこと等により、製商品売上高に対する売上原価率は46.0%(同6.5%ポイント増)となり、売上総利益は2,361億円(同18.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、新製品・適応拡大品の適正使用推進と製販後調査に関わる費用等の増加により、営業費が982億円(同3.3%増)と増加しました。研究開発費は、早期開発段階の品目が増加したことや製薬研究設備の充実により553億円(同3.9%増)となりました。

その結果、営業利益は826億円(同60.1%増)となりました。また、外貨取引に備えて実施している為替予約を主因として営業外収益が94億円発生したことにより経常利益は904億円(同57.8%増)、当期純利益は566億円(同44.0%増)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ238億円増加し、945億円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、665億円のプラス(前期比272億円の増加)となりました。この増加は法人税等の支払額が減少したことと、税金等調整前当期純利益が増加したこと等によるものです。

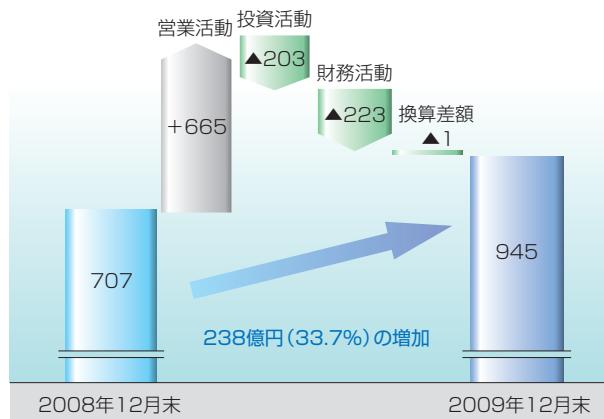
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、203億円のマイナス(前期比62億円の減少)となりました。この減少は、固定資産の取得による支出が減少した一方、定期預金の預入が増加したこと等によりです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、223億円のマイナス(前期比39億円の減少)となりました。この減少は、配当金の支払額が増加したこと等によりです。

当期実績

キャッシュ・フローの状況

(億円)



連結貸借対照表

単位：億円

科目	当期	前期
	2009年12月31日現在	2008年12月31日現在
資産の部	(5,405)	(4,785)
流動資産	4,113	3,444
現金及び預金	1,070	708
受取手形及び売掛金	1,216	1,085
有価証券	522	547
たな卸資産	926	787
その他流動資産	379	317
固定資産	1,292	1,342
有形固定資産	937	983
無形固定資産	32	31
投資その他の資産	323	327
うち投資有価証券	97	144
資産合計	5,405	4,785
負債の部	(1,059)	(815)
流動負債	1,005	785
支払手形及び買掛金	343	288
その他流動負債	662	498
固定負債	54	29
その他固定負債	54	29
純資産の部	(4,347)	(3,971)
資本金	730	730
資本剰余金	928	928
利益剰余金	3,080	2,710
自己株式	△363	△352
その他有価証券評価差額金	16	14
為替換算調整勘定	△68	△79
新株予約権	5	3
少数株主持分	18	17
負債純資産合計	5,405	4,785

連結損益計算書

単位：億円

科目	当期	前期
	2009年1月1日から 2009年12月31日まで	2008年1月1日から 2008年12月31日まで
売上高	4,289	3,269
売上原価	1,929	1,270
売上総利益	2,361	1,999
営業費	982	951
研究開発費	553	532
営業利益	826	516
営業外収益	94	99
営業外費用	16	42
経常利益	904	573
特別利益	3	73
特別損失	13	14
税金等調整前当期純利益	894	631
当期純利益	566	393

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	当期	前期
	2009年1月1日から 2009年12月31日まで	2008年1月1日から 2008年12月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	665	393
投資活動による キャッシュ・フロー	△203	△141
財務活動による キャッシュ・フロー	△223	△184
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1	△99
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	238	△31
現金及び現金同等物の 期首残高	707	737
現金及び現金同等物の 期末残高	945	707

連結株主資本等変動計算書

単位：億円

科目	当期	前期
	2009年 1月 1日から 2009年12月31日まで	2008年 1月 1日から 2008年12月31日まで
株主資本		
資本金		
前期末残高	730	729
当期変動額		
新株の発行	—	0
当期変動額合計	—	0
当期末残高	730	730
資本剰余金		
前期末残高	928	928
当期変動額		
新株の発行	—	0
当期変動額合計	—	0
当期末残高	928	928
利益剰余金		
前期末残高	2,710	2,481
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△0	—
当期変動額		
剰余金の配当	△196	△163
当期純利益	566	393
自己株式の処分	△0	△0
当期変動額合計	370	229
当期末残高	3,080	2,710
自己株式		
前期末残高	△352	△351
当期変動額		
自己株式の取得	△12	△1
自己株式の処分	1	0
当期変動額合計	△11	△1
当期末残高	△363	△352
株主資本合計		
前期末残高	4,016	3,787
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△0	—
当期変動額		
新株の発行	—	0
剰余金の配当	△196	△163
当期純利益	566	393
自己株式の取得	△12	△1
自己株式の処分	0	0
当期変動額合計	359	229
当期末残高	4,375	4,016

科目	当期	前期
	2009年 1月 1日から 2009年12月31日まで	2008年 1月 1日から 2008年12月31日まで
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	14	28
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	△14
当期変動額合計	3	△14
当期末残高	16	14
為替換算調整勘定		
前期末残高	△79	19
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11	△98
当期変動額合計	11	△98
当期末残高	△68	△79
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△65	47
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14	△112
当期変動額合計	14	△112
当期末残高	△51	△65
新株予約権		
前期末残高	3	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2	2
当期変動額合計	2	2
当期末残高	5	3
少数株主持分		
前期末残高	17	22
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△0	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1	△6
当期変動額合計	1	△6
当期末残高	18	17
純資産合計		
前期末残高	3,971	3,858
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△0	—
当期変動額		
新株の発行	—	0
剰余金の配当	△196	△163
当期純利益	566	393
自己株式の取得	△12	△1
自己株式の処分	0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18	△116
当期変動額合計	377	113
当期末残高	4,347	3,971

主な臨床開発の状況 (2010年2月3日現在)

開発コード 一般名/予定製品名/剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	
RG340 カベシタピン/ゼローダ/経口	代謝拮抗剤 酵素活性化型5-FU 誘導体	大腸がん (適応拡大)	日本						09/09	ロシュ [Xeloda]
		胃がん (適応拡大)	*							
RG435 ペバシズマブ/アバスタチン/注射	抗VEGF(血管内皮増殖因子)ヒト化モノクローナル抗体	非小細胞肺がん (適応拡大)	日本						09/11	ロシュ [Avastin]
		乳がん (適応拡大)	日本					09/10		
		結腸がん(アジュバント) (適応拡大)	*							
		胃がん (適応拡大)	*							
		乳がん(アジュバント) (適応拡大)	*							
		グリオブラストーマ (適応拡大)	*							
		グリオブラストーマ(再発例) (適応拡大)	日本							
RG1415 エルロチニブ塩酸塩/タルセバ/経口	EGFRチロシンキナーゼ阻 害剤	肺癌 (適応拡大)	日本					09/09	ロシュ・OSI [Tarceva]	
EPOCH エポエチンベータ/エポジン/注射	遺伝子組換えヒトエリスロ ポエチン	がん治療に伴う貧血 (適応拡大)	日本					09/11	自社	
RG597 トラスツズマブ/ハーセプチン/注射	抗HER2ヒト化モノクロー ナル抗体	胃がん (適応拡大)	*						ロシュ [Herceptin]	
RG1273 ベルツズマブ/製品名未定/注射	HER二量体化阻害ヒト化モ ノクローナル抗体	乳がん	*						ロシュ	
TP300 一般名未定/製品名未定/注射	トポイソメラーゼ I 阻害剤	胃がん等	海外						自社	
MRA トシリズマブ/アクテムラ/注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプター モノクローナル抗体	肺癌 (適応拡大)	日本						自社 <ロシュ>	
CIF(RG7167) 一般名未定/製品名未定/経口	MEK阻害剤	固形がん	日本							自社 <ロシュ>
			海外							

●がん領域

開発コード 一般名 / 予定製品名 / 剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)						オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	発売	
CKI27(RG7304) 一般名未定 / 製品名未定 / 経口	—	固形がん	日本							自社 <ロシュ>
			海外							
GA101(RG7159) 一般名未定 / 製品名未定 / 注射	ヒト化抗CD20モノクロー ナル抗体	非ホジキンリンパ腫	日本							GlycArt
RG3502 一般名未定 / 製品名未定 / 注射	抗HER2 ヒト化モノクロー ナル抗体 薬剤結合抗体	乳がん	日本							ロシュ
GC33 一般名未定 / 製品名未定 / 注射	ヒト化抗グリビカン3モノ クローナル抗体	肝がん	海外							自社

●骨・関節領域

MRA トシリズマブ / Actemra(US)・ RoActemra(EU) / 注射	ヒト化抗ヒトIL-6レセプ ターモノクローナル抗体	関節リウマチ (適応拡大)	米国							10/01	自社 <ロシュ>
		全身型若年性特発性関節 炎(sJIA) (適応拡大)	海外								
MRA トシリズマブ / アクテムラ / 注射		関節リウマチ (新剤形:皮下注射剤)	日本								
ED-71 エルデカルシトール / 製品名未定 / 経口	活性型ビタミンD ₃ 誘導体	骨粗鬆症	日本							09/10	自社 <大正製薬>
RG1594 オクレリズマブ / 製品名未定 / 注射	ヒト化抗CD20モノクロー ナル抗体	関節リウマチ	*								ロシュ
RG484 イバンドロン酸ナトリウム水和物 / 製 品名未定 / 注射	ビスフォスフォネート系骨 吸収抑制剤	骨粗鬆症	日本								ロシュ [Boniva(US)・ Boniva(EU)] <大正製薬>
RG484 イバンドロン酸ナトリウム水和物 / 製 品名未定 / 経口			日本								

* 国際共同治験 今期の進捗

Phase1(第I相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。

Phase2(第II相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3(第III相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

主な臨床開発の状況 (2010年2月3日現在)

開発コード 一般名/予定製品名/剤形	作用機序等	予定適応症 (適応拡大)	開発 地域	ステージ(時期)					オリジン [海外製品名] <共同開発>
				Phase1	Phase2	Phase3	申請中	承認	

●腎領域

RG744 一般名未定/製品名未定/注射	持続型エリスロポエチン受容体アクチベーター	腎性貧血	日本						ロシュ [Mircera]
--------------------------------	-----------------------	------	----	--	--	--	--	--	------------------

●移植・免疫・感染症領域

RG964 リバビリン/コペガス/経口	抗ウイルス剤 ペガシス併用	C型代償性肝硬変 (適応拡大)	日本						ロシュ [Copegus]
RG442 ペグインターフェロンアルファ-2a/ ペガシス/注射	遺伝子組換えペグ化インターフェロン	B型慢性肝炎 (適応拡大)	日本						ロシュ [Pegasys]
NA808 一般名未定/製品名未定/注射	セリンパルミトイルトランスフェラーゼ阻害剤	C型慢性肝炎	日本						自社
NTZ nitazoxanide/製品名未定/経口	チアゾリド系化合物	C型慢性肝炎	日本						ロマーク [Alinia]

●その他の領域

EPOCH エポエチン ベータ/エポジン/注射	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン	自己血貯血 (適応拡大)	日本						自社
RG1678 一般名未定/製品名未定/経口	GLYT1 阻害剤	統合失調症	*						ロシュ
CSG452(RG7201) 一般名未定/製品名未定/経口	SGLT2阻害剤	Ⅱ型糖尿病	*						自社 <ロシュ>
RG1583(ITM-077) taspeglutide/製品名未定/注射	GLP-1 アナログ	Ⅱ型糖尿病	日本						ロシュ・ イブセン(帝人)
RG1450 gantenerumab/製品名未定/注射	ヒト抗アミロイドベータモノクローナル抗体	アルツハイマー病	日本						ロシュ・ Morphosys

* 国際共同治験 () 今期の進捗

Phase1(第Ⅰ相臨床試験)

同意を得た少数の健康人志願者を対象に、安全性及び体内動態の確認を行う。

Phase2(第Ⅱ相臨床試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投与方法などを確認する。

Phase3(第Ⅲ相臨床試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性と安全性を確認する。

●がん領域

ハーセプチン®	抗悪性腫瘍剤
リツキサン®	抗悪性腫瘍剤
アバスチン®	抗悪性腫瘍剤
ゼローダ®	抗悪性腫瘍剤
タルセバ®	抗悪性腫瘍剤
フェマーラ®	抗悪性腫瘍剤

支持療法剤

ノイトロジン®	好中球減少症治療剤
カイトリル®	制吐剤

●骨・関節領域

アクテムラ®	関節リウマチ治療剤
エビスタ®	閉経後骨粗鬆症治療剤
アルファロール®	骨代謝改善剤
スベニール®	関節機能改善剤

●腎領域

エポジン®	腎性貧血治療剤
オキサロール®	二次性副甲状腺機能亢進症治療剤
レナジェル®	高リン血症治療剤

●その他の領域

タミフル®	抗インフルエンザウイルス剤
シグマート®	不安定狭心症・急性心不全治療剤
ペガシス®	C型慢性肝炎治療剤
コベガス®	抗ウイルス剤
ロセフィン®	セフェム系抗生物質製剤
セルセプト®	免疫抑制剤



アバスチン®



アクテムラ®

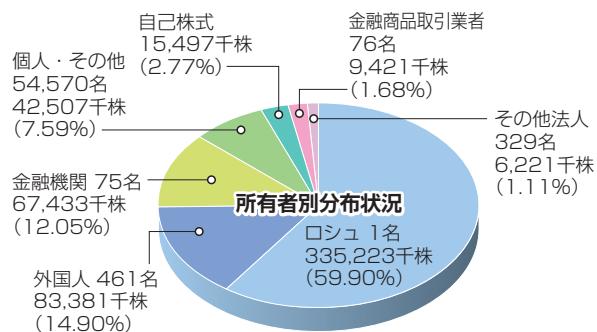


エポジン®

● 株式状況

発行可能株式総数…………… 799,805,050株
 発行済株式の総数…………… 559,685,889株
 株主数…………… 55,513名

● 株式分布状況

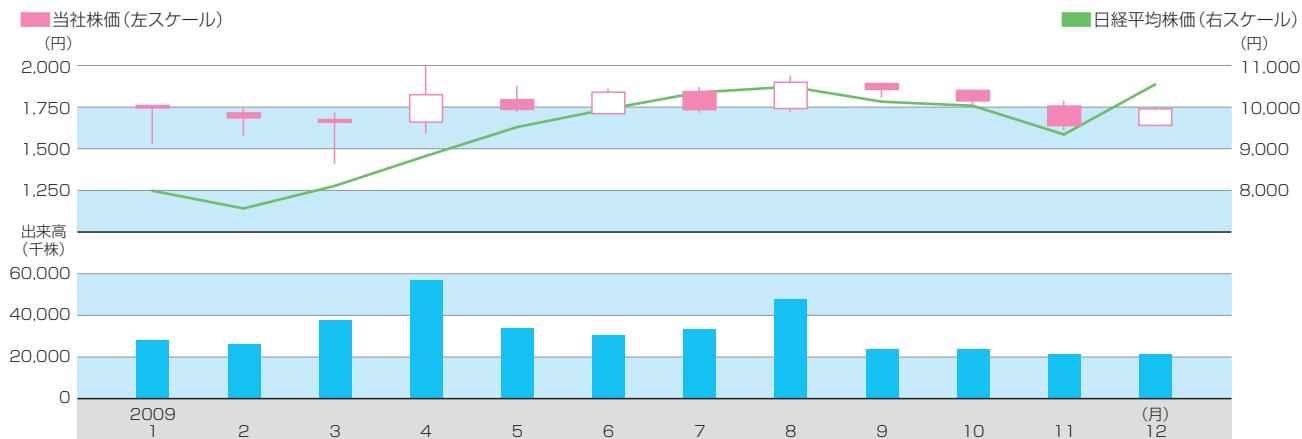


● 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ロシュ・ファームホールディング・ビー・ヴィ	335,223	61.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,544	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,327	2.45
ザチース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オム コバス アカUNT	5,955	1.09
東京海上日動火災保険株式会社	5,150	0.95
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オム コバス ユーエス ペンション	3,973	0.73
JPモルガン証券株式会社	3,122	0.57
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,037	0.56
住友生命保険相互会社	3,000	0.55
中外製薬社員持株会	2,836	0.52

※当社は自己株式15,497,079株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株価の推移



●株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当金 期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日

公告 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081

同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京

●株式に関するお手続き等について

お問合せ内容	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
改姓・改名のお届け 住所変更・住居表示変更のお届け	お取引の証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
単元未満株式の買取・買増請求		
配当金の銀行振込のご指定、振込先・振込方法変更のお届け		
まだお受取りになっていない配当金の受領について	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル) http://www.tr.mufg.jp/daikou/	
株主様宛郵便物の発送・返戻について		
特別口座に関するお問合せ		

特別口座*: 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。

●「特別口座」で株式をお持ちの株主様へ

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されなかった株主様には、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設しております。特別口座は、株主様の権利を保全するための暫定的な口座であり、この特別口座に記録された株式は、証券会社の取引口座に振り替えなければ売買できません。また、証券会社の取引口座に株式を振り替えると、配当金受領等の面で便利になりますので、お早めに証券会社の取引口座への振替をお願いいたします。

特別口座からの振替のお手続きにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行、または、お取引の証券会社へお問い合わせください。

●三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)

● 会社概要

会社設立	1943年(昭和18年)3月8日	従業員数	6,485名(連結)
創業	1925年(大正14年)3月10日	本店	東京都北区浮間五丁目5番1号
資本金	72,966,825,723円	本社事務所	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

● 主要な連結子会社

中外製薬工業株式会社

- 資本金 / 80百万円
- 持株比率 / 100%
- 主な事業内容 / 医薬品の製造受託

中外ファーマ・マーケティング・リミテッド(英国)

- 資本金 / 8,677千英ポンド
- 持株比率 / 100%
- 主な事業内容 / 欧州における販売統轄・医薬品の販売

Information

ホームページのご案内

ホームページリニューアルのお知らせ

この度、企業情報や病気とくすりに関する最新かつ有益な情報をより多くのステークホルダーの皆様にご提供するために、2010年1月7日よりウェブサイトをリニューアルいたしました。ホームページもご覧下さい。



<http://www.chugai-pharm.co.jp/>



株主・投資家向け情報のページ

役員



代表取締役社長
永山 治



代表取締役
副社長執行役員
上野 幹夫



取締役
専務執行役員
児玉 龍三



取締役
専務執行役員
山崎 達美



取締役
専務執行役員
小坂 達朗

●取締役

代表取締役社長	永山 治
代表取締役 副社長執行役員	上野 幹夫
取締役 専務執行役員	児玉 龍三
取締役 専務執行役員	山崎 達美
取締役 専務執行役員	小坂 達朗
取締役	大橋 光夫
取締役	池田 康夫
取締役	エイブラハム・イー・コーエン
取締役	ウィリアム・エム・バーンズ
取締役	エーリヒ・フンツィカー
取締役	パスカル・ソリオ
取締役	ジャン・ジャック・ガロー

●監査役

常勤監査役	松本 茂外志
常勤監査役	達 保宏
監査役	藤井 保紀
監査役	小林 俊夫

社会責任報告書のご案内

社会責任報告書 CSR'09

<http://www.chugai-pharm.co.jp/profile/csr/index.html>



アニュアルレポートのご案内

アニュアルレポート2009

<http://www.chugai-pharm.co.jp/ir/irreport.html>





ここから、
薬ができるんだ。

がん、リウマチ、
腎性貧血、C型肝炎。
私たちは、
最先端のテクノロジーで
病気に立ち向かっています。

バイオ、ゲノム、抗体医薬。

最先端テクノロジーから

生み出された中外製薬の医薬品は、

さまざまな疾病領域の治療に貢献しています。

新しい治療薬を待ち望む人がいる限り、

私たちの挑戦は終わることはありません。



中外製薬

Roche ロシュグループ

今までにない医薬品を、今までにない力で創り出す。

<http://www.chugai-pharm.co.jp/>



用紙は、FSC森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。

この冊子についてのお問い合わせは



中外製薬株式会社

Roche ロシュグループ

総務部

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
TEL.03(3273)0809 FAX.03(3281)2828